

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料は Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) サーバと音声 XML (VXML) ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間が 200ms ラウンドトリップにアプローチするか、または超過するとき問題およびソリューションを記述したものです。

問題

CVP サーバと VXML ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間は 200ms ラウンドトリップより大いに小さい期待されます。 Round Trip Time がこれにアプローチするか、または超過する場合、CVP Interactive Voice Response (IVR) パフォーマンスは次の通り大きく影響します:

- コールドロップ。
- される VXML アプリケーション オーディオ無し。
- microapp はうまく働きますが、VXML アプリケーションは 5 秒に (helloworld アプリケーションのような) オーディオかオーディオを遅れませ経験しません。

解決策

CVP 8 ソリューション参照ネットワーク設計 (SRND) のネットワーク待ち時間セクションは VXML サーバと VXML ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間による VXML アプリケーションからの遅らせられたオーディオの効果を減らすために可能性のある回避策を記述します。この回避策はサバイバビリティ Tool Command Language (tcl) スクリプトを設定し、「WAN 遅延呼出し」機能をアクティブにすることです。設定例はこの survivability.tcl スクリプト断片で示されています:

survivability.tcl スクリプトは「wan_delay_ringback」が「CCB」変数と同じようなグローバル変数であることを示します。従って、このサービスパラメータに値を提供するためにパラメータ「キーワード」設定を使用する必要があります。

```
application
```

```
service cvp-survivability flash:survivability.tcl
```

```
paramspace english language en
```

```
paramspace english index 0
```

```
param ccb id:192.168.249.10
```

```
paramspace english location flash
```

```
param wan-delay-ringback 1
```

```
paramspace english prefix en
```

!

survivability.tcl スクリプトはまた「ringback.wav」ファイルがサバイバビリティ アプリケーションが見つけられる入力ゲートウェイ フラッシュするで保存される必要があることを提案します。これはパラメータが 1. に設定 されたらスクリプトが ringback.wav ファイルをするようにします

。